

2025年7月13日(日)

日本基督教団 大宮教会

大宮教会ビジョン

「すべての人を喜びあふれる神の家族へ」
- 聖書の御言葉に生きる共同体を造り上げる -
(マタイによる福音書 28 : 19~20)

聖霊降臨節第6主日

朝第1礼拝 9:00~10:00

朝第2礼拝 10:30~11:45

<神の招き>

前 奏 ①

② 天にまします我らの父よ ブクステフーデ

招きの詞 詩編62:6~9

交読詩編 133:1~3

讃美歌 13

<神の言葉>

聖 書 創世記50:15~21

(旧約 聖書協会共同訳 84頁)

マルコによる福音書14:10~21

(新約 聖書協会共同訳 89頁)

祈 禱

讃美歌 57

説 教 「ユダの裏切りの予告」

熊江秀一牧師

祈 禱

黙 想
讃美歌 441

<神への応答>

使徒信条

献 金

主の祈り

宣教報告② 部落解放祈りの日リタニー

頌 栄 28

派遣と祝福

後 奏 ①

② 主はわが良き牧者 バッハ

宣教報告①

夕 礼 拝 18:00~19:00

<神の招き>

前 奏 まことの神 VI バッハ

招きの詞 詩編62:6~9

交読詩編 133:1~3

讃美歌 1

<神の言葉>

聖 書 列王記上8:27~30

(旧約 聖書協会共同訳 528頁)

ルカによる福音書2:39~52

(新約 聖書協会共同訳 103頁)

祈 禱

讃美歌 58

説 教 「どうして私を捜したのですか」
佐藤潤伝道師

祈 禱

黙 想
讃美歌 529

<神への応答>

使徒信条

献 金

主の祈り

宣教報告

頌 栄 28

派遣と祝福

後 奏 まことの神 VII バッハ

今週の御言葉(マルコによる福音書 14:18~19)

一同が席に着いて食事をしているとき、イエスは言われた。「よく言うておく。あなたがたのうち
の一人で、私と一緒に食事をしている者が、私を
裏切ろうとしている。」弟子たちは心を痛めて、
「まさか私のことでは」と代わる代わる言い始め
た。

次週の礼拝(7月20日)

①9:00 ②10:30 18:00

説教「主の晩餐」熊江秀一牧師

出エジプト記24:1~8、マルコによる福音書14:22~25

交読詩編143:1~6 讃美歌 14、56、411、28

*礼拝中、起立がご無理な方は、着席のままどうぞ。*は祈祷当番の方。*①は朝第1礼拝、②は朝第2礼拝、夕は夕礼拝。

■今週の祈禱課題■ 独り祈る時、共に祈る時にお覚えください。

1. キリストの体なる教会が豊かに形成される為に
2. 東日本大震災と能登半島地震の被災者の為に
3. 各部(婦人・壮年・青年・新しい会)の為に
4. 埼玉地区の為に
5. 関連幼稚園とお泊り保育の為に
6. 部落解放祈りの日の為に
7. イスラエルとパレスチナ、ウクライナ、世界の平和の為に
8. 病気の兄姉の為に

*関東教区お祈りカレンダー 桐生教会 桐生東部教会 泉町教会

主の受難物語の導入が与えられた。主の殺害計画と主に香油を注ぐという対照的な二つの主の死の準備の箇所である。

主の殺害計画は、出エジプトを記念する救いと命の祭の二日前に立てられた。しかもその祭を司り、御言葉を教える人々によって。このことを見過ごしてはならない。私たちが主を十字架につける者であることを忘れることなく、悔い改めなければならない。

しかしその闇の中に光を放つのが、主に香油を注いだ女の出来事である。主は「世界中どこでも、福音が宣べ伝えられる所では、この人のしたことも記念として語り伝えられるだろう」と宣言した。この女は自分の命と同じくらい大切な香油を惜し気もなく主に注いだ。

主に香油が注がれたことには二つの意味がある。主イエスが王であり、メシア（油注がれた者）である証し。もう一つは主の葬りの準備。

しかも復活の命の香りがあふれる葬りの準備となった。女は自分の行為が主の葬りの準備となるとは思っていなかった。ただ主の愛に対する感謝と献身として、香油を捧げずにはいられなかった。この女は私たちの姿である。主の恵みに応える私たちの献身の姿である。

しかしこの女に対して、人々は、それを売って貧しい人に施すべきではないのかと憤慨した。それに対して主は「私はいつも一緒にいるわけではない」と、十字架の主と向き合う時の大切さを告げた。私たちはそれを何よりも大切にす。そしてその時、私たちに隣人と共に生き、愛に生きる力が与えられる。

主はこの女は「できるかぎりのことをした」と言う。それは「美しい」と訳せる。それは献身の美しさである。献身の美しさは闇の中で美しく輝く。この女に続いて、私たちがそれぞれの香油を捧げ、献身の道を歩もう。